

DX推進基盤整備計画

令和4年4月
三重県デジタル社会推進局
デジタル改革推進課

三重県DX推進基盤の整備

(1) 県庁DXを推進する情報基盤（DX推進基盤）の整備

- 県庁DX推進の両輪は「人材の確保・育成」と「DX推進基盤の整備」
- 令和4年度にDX推進基盤の整備費を予算化
- 現状の課題解決と新たな視点からなる3つの環境整備に取り組む
 - 整備（R4）、運用（R5～R9）

(2) 3つの取組

- 取組1 クラウドシフトによるコミュニケーションの活性化
- 取組2 テレワーク環境の強化による多様な働き方の実現
- 取組3 データドリブンを実現するデータ活用基盤の整備・運用

取組1 クラウドシフトによるコミュニケーションの活性化

(1) インターネット接続環境の見直し

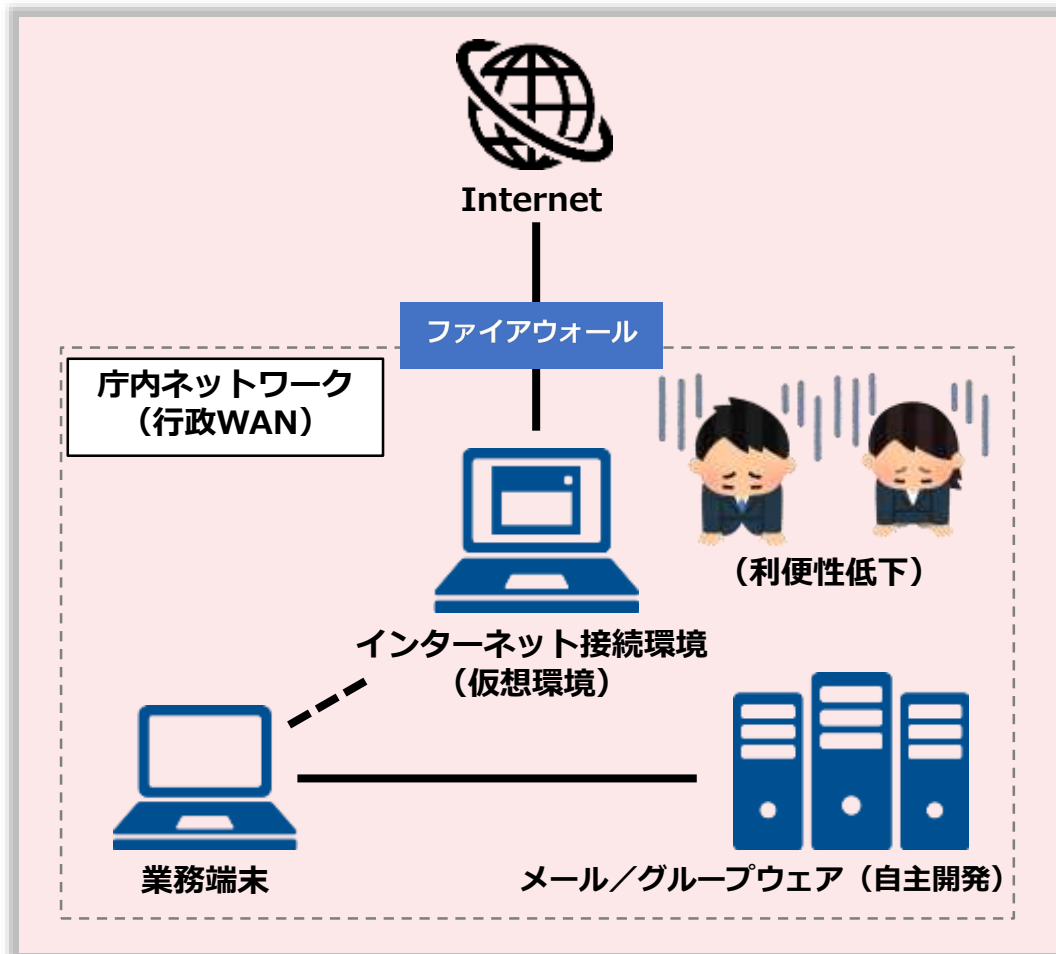
- (利便性低下が課題の) インターネット接続環境の廃止
 - 一人一台パソコン等業務端末からのインターネットへの直接接続を可能に
 - 業務端末のセキュリティを強化

(2) 全庁システムのクラウドサービスへの移行（刷新）・導入

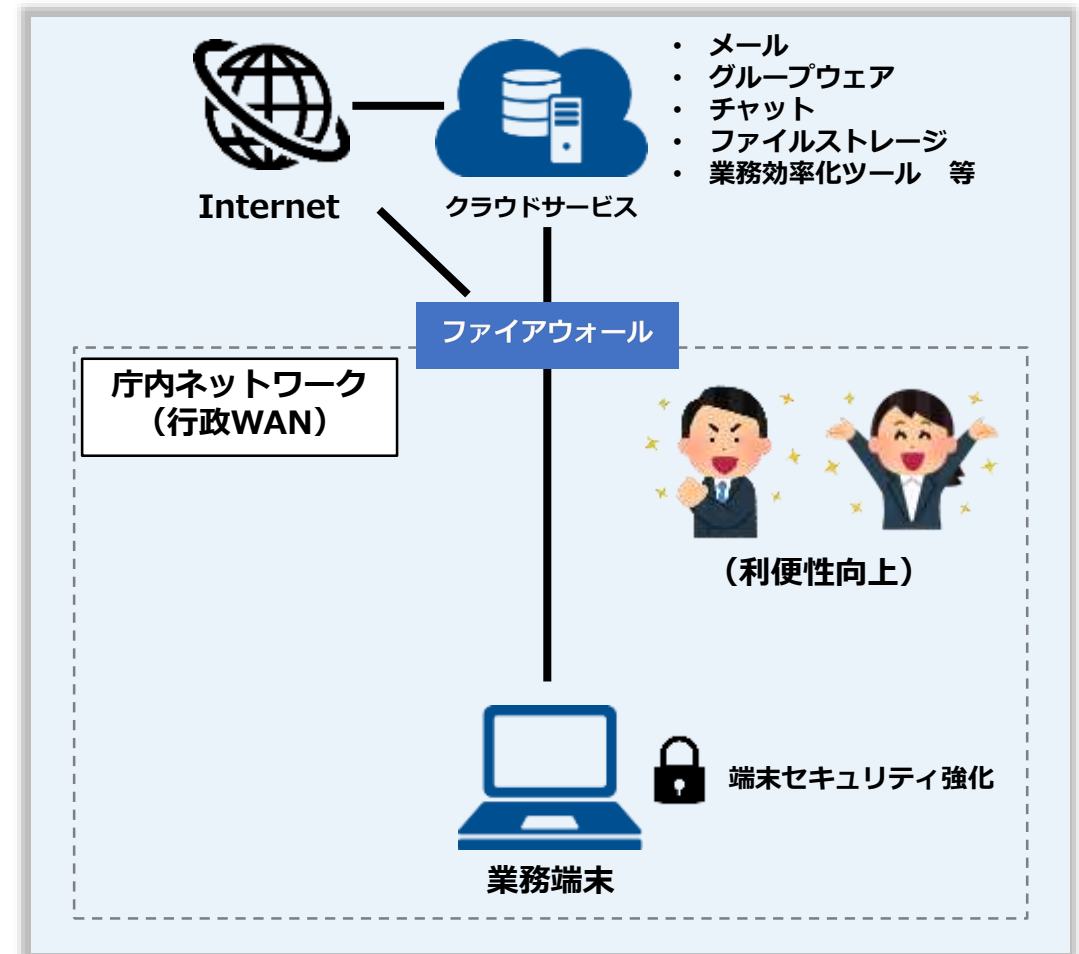
- メールシステム（庁内・インターネットメール）の移行（刷新）
- グループウェアシステム（予定表・施設予約・掲示板等）の移行（刷新）
- ビジネスチャット・ファイルストレージサービスの導入
- 業務効率化ツール（ノーコード・ローコード）の導入
 - 簡易アプリケーションを職員が容易に作成できる環境を整備

取組1 クラウドシフトによるコミュニケーションの活性化

現状



見直しイメージ



取組2 テレワーク環境の強化による多様な働き方の実現

(1) 業務端末（DK20・DK21）の外部持ち出しを可能に

- 対象端末 計1,800台（DK20：約500台、DK21：約1,300台）
- 外出先でも、在席時と同様に行政WANへの接続が可能（端末の通信機能設定等が必要）
 - 対象端末のセキュリティ対策（監視等も含め）をさらに強化
 - DK20・DK21（既に配付済）については、ニーズ把握のうえ再配置を検討

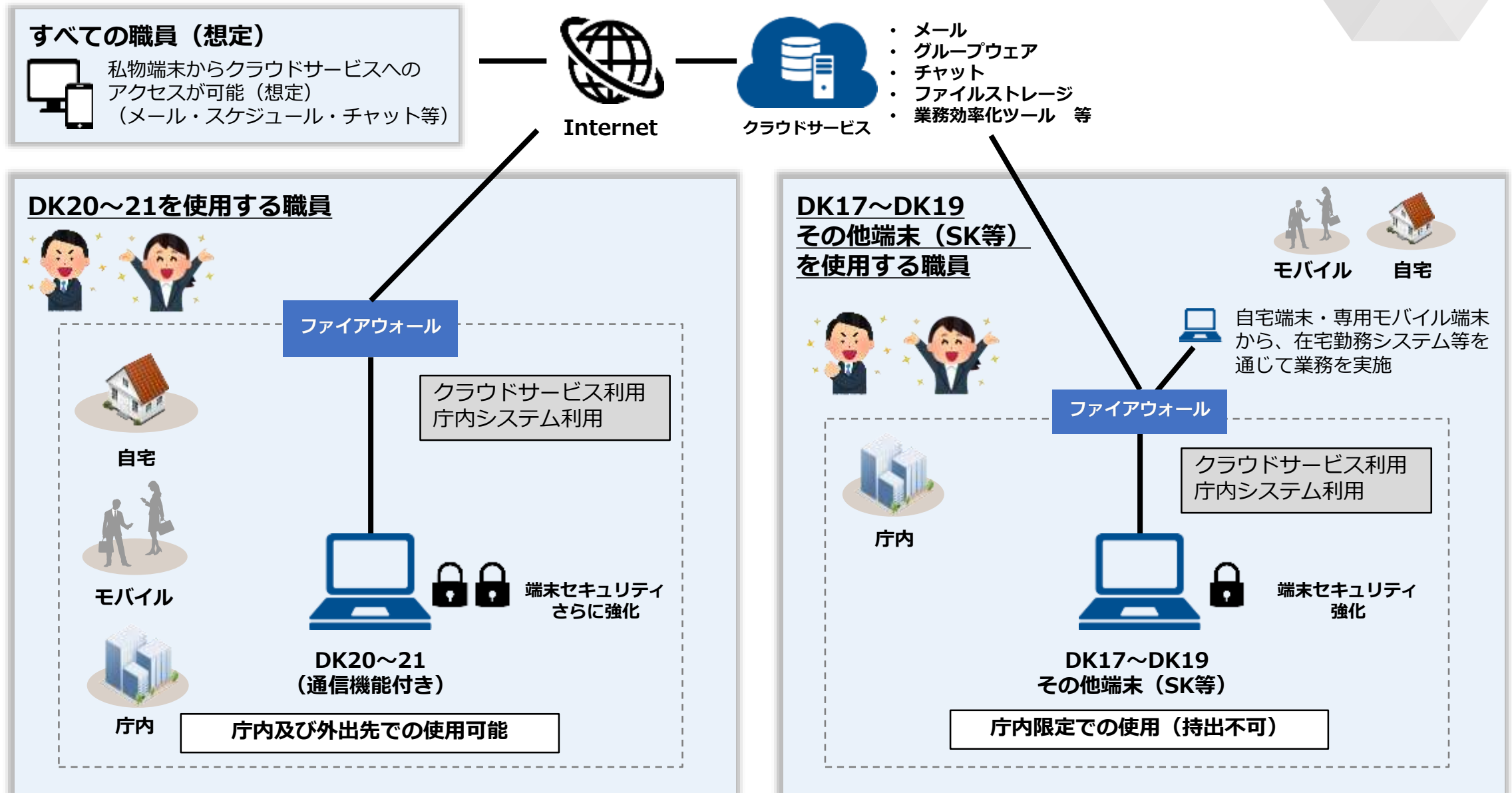
(2) 対象端末以外（DK17～DK19ほか）の場合は現行環境を使用

- 自宅端末を通じて現行の在宅勤務システムから対象端末に接続する
- 所属配付済の専用モバイルパソコンから接続する

(3) 個人端末（スマホ等）からクラウドサービスへの接続が可能に

- メール・スケジュール・チャット等の参照・確認が可能に
 - 個人端末で可能とする業務範囲については今後検討する

取組2 テレワーク環境の強化による多様な働き方の実現



取組3 データドリブンを実現するデータ活用基盤の整備・運用

(1) DXの核心である「データ活用」

- データドリブン（データの収集・分析を前提とした経営判断）な組織への転換
 - データ活用を前提とした、政策立案（EBPM）・県民目線の行政サービス創出

(2) データ活用基盤の整備

- データ活用を行うための基盤をクラウドサービスを活用して整備

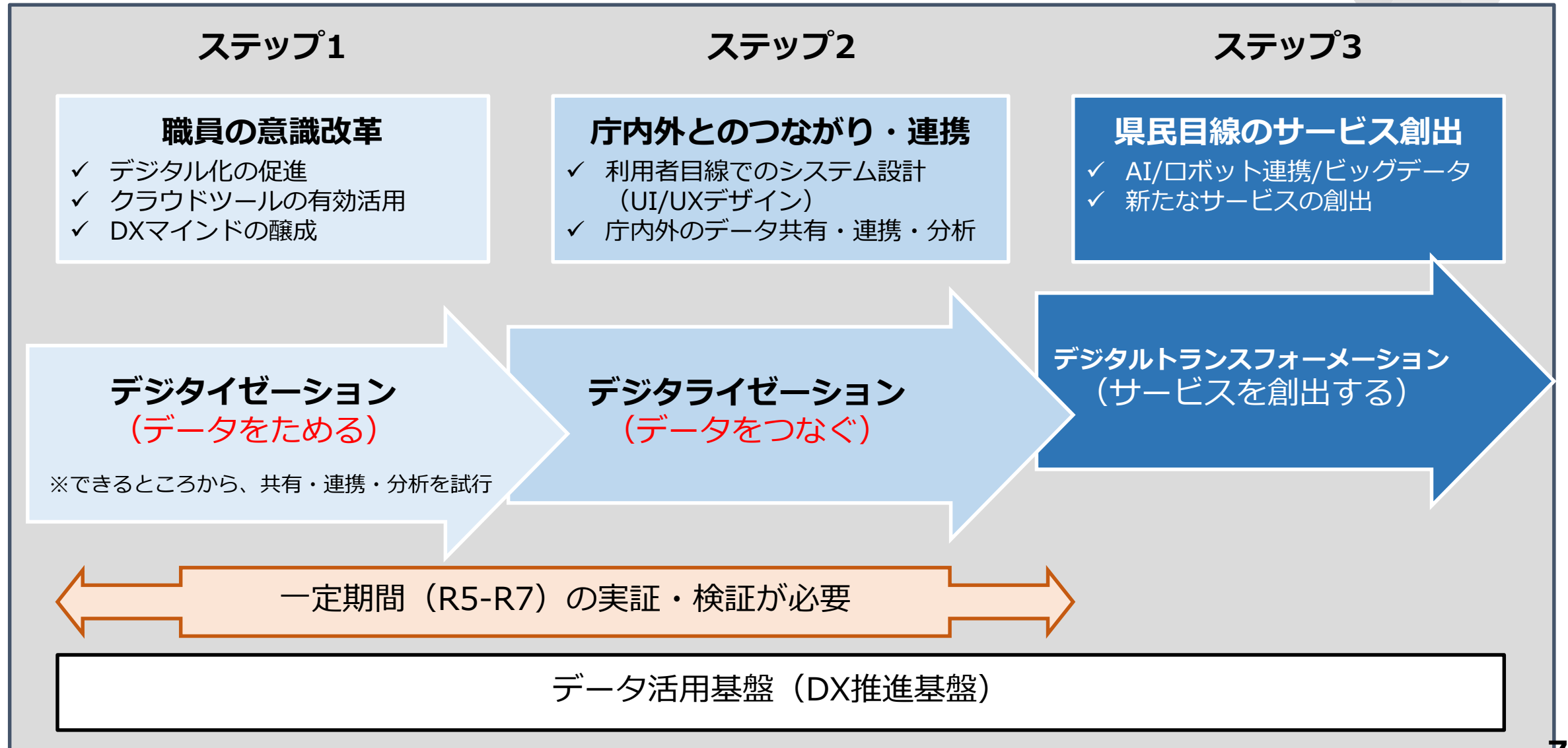
(3) データ活用の推進（3つのステップ）

- ステップ1（データをためる）／ステップ2（データをつなぐ）
 - 県保有データの悉皆調査・オープンデータ再整備（R4）
 - 課題テーマの設定（R5-R7）※毎年度3テーマ程度設定
 - 市町・企業等保有データとの連携検討
- ステップ3（新サービスを創出する）

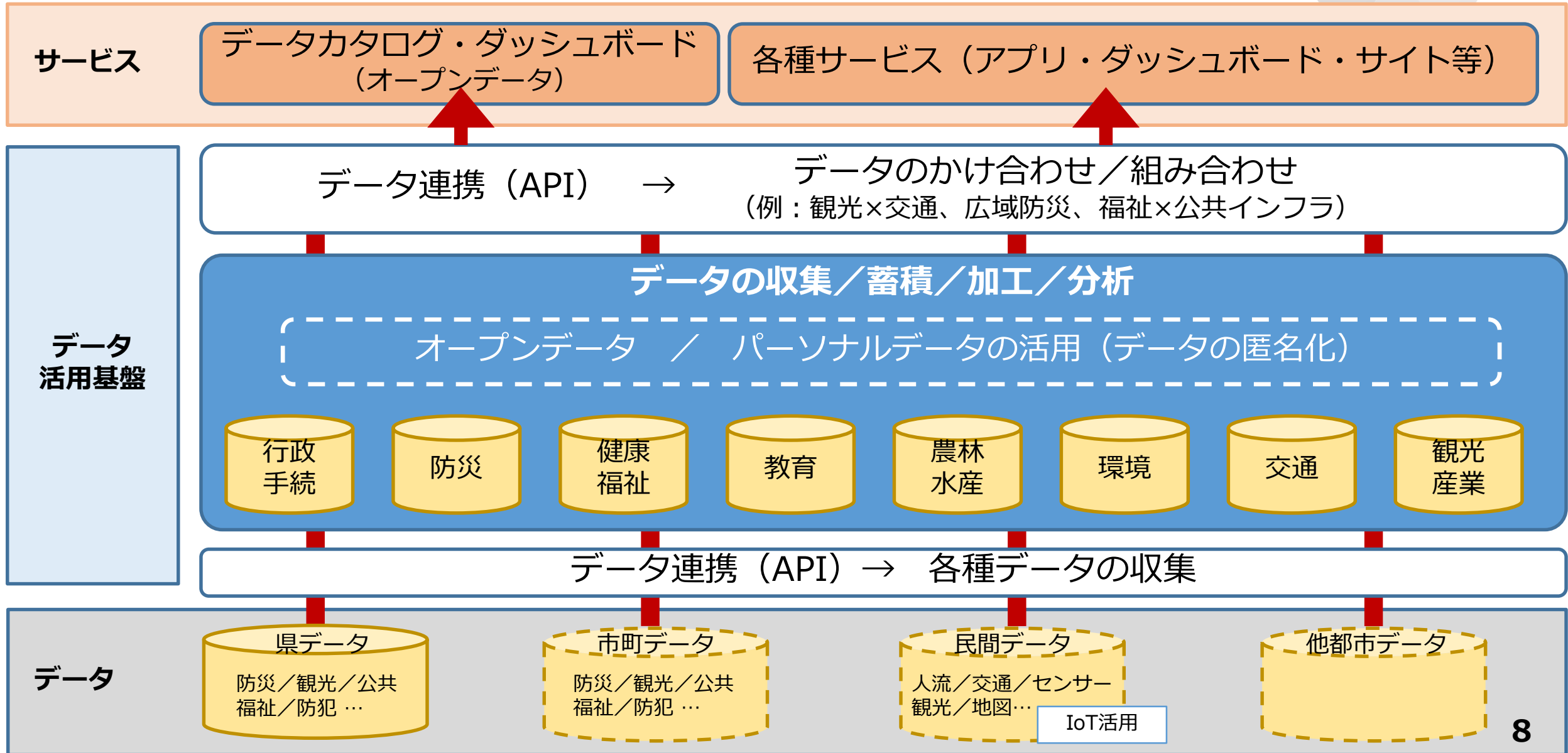
【課題】

データ活用は一足飛びには進まない。
ステップ1・2については、
当面3年間（R5-R7）の
実証期間を設ける想定。

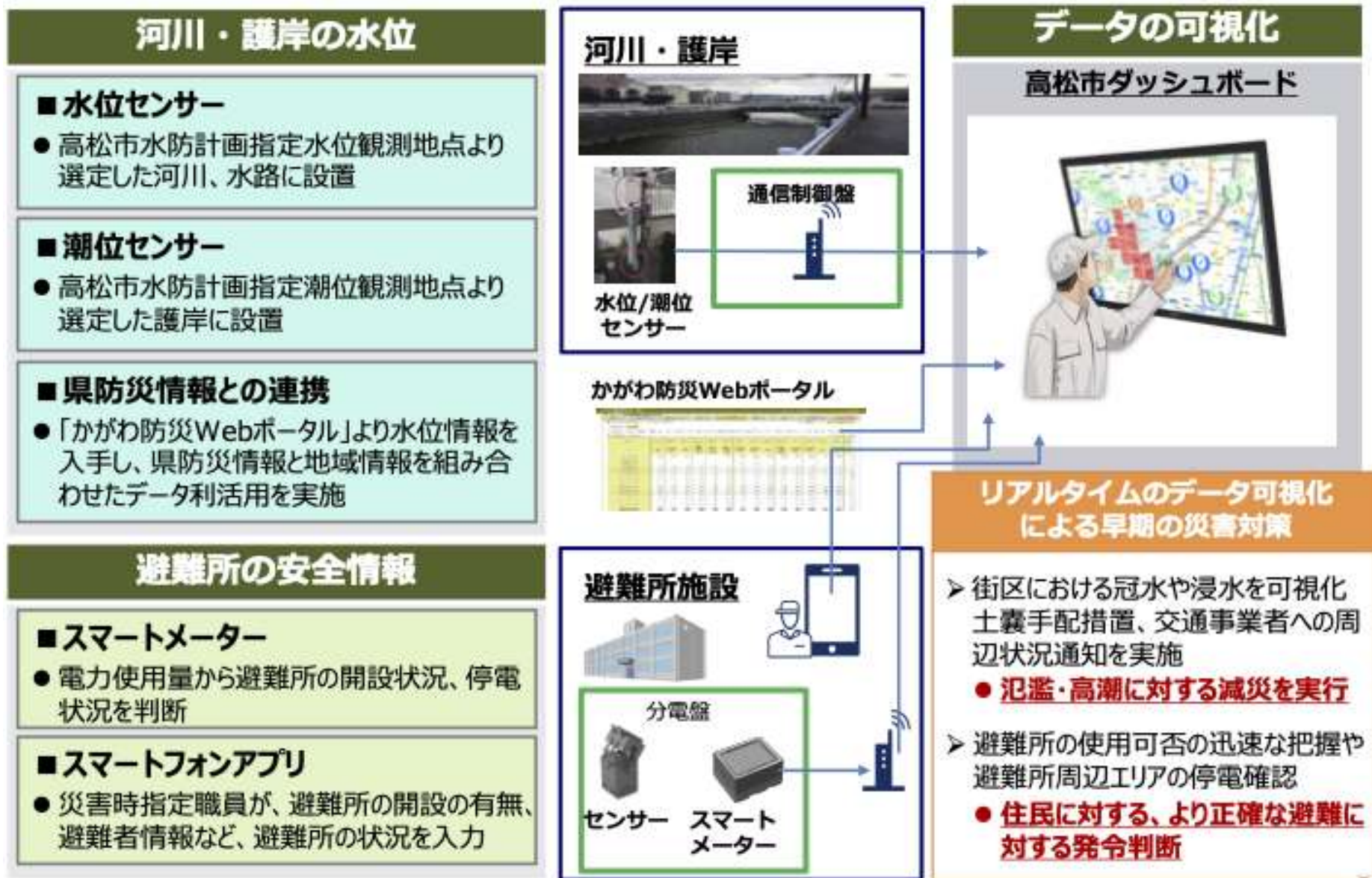
データ利活用の3つのステップ



データ活用基盤の構成イメージ



データ活用の先進事例：防災（高松市）



データ活用の先進事例：観光（高松市）

GPSロガーによるデータの蓄積

■ 起終点の把握

- 座標データより、自転車利用の出発地、目的地の位置が把握可能

■ 利用経路・行動範囲の把握

- 座標データより、自転車が通過した軌跡が分かり、走行した利用経路が把握可能

■ 移動時刻・滞在時間の把握

- ログの取得時刻により、移動時刻や到着時刻、目的地における滞在時間が把握可能

利用者登録

■ 利用者属性・目的等の把握

- 利用者登録より、利用者属性(性年代、国籍) や利用目的を把握

データの可視化

出発地・目的地・移動経路の可視化



滞在時間の可視化



観光・MICEの振興

- レンタサイクルを使用する外国人観光客の訪問先を把握し、多言語対応
- レンタサイクルを使用する観光客の訪問先を把握し、新たな観光資源を発掘

- 上記により、高松を訪れる観光客の満足度向上や、新たな観光資源を活用した観光施策を展開

取組の効果

(1) 県民サービスの向上

- 業務効率化ツールやデータ活用基盤の導入により、短期間でのシステム導入や、庁内及び市町・企業等関係者とのデータ連携を前提とした政策立案・実装が常態化する。
 - 利用者目線でのサービス提供による県民満足度・信頼度の向上

(2) 業務効率化・生産性のさらなる向上

- 庁内システムのクラウド移行により、場所や時間の制約を受けない多用な働き方が実現
- クラウドツールの導入等による、コミュニケーションの円滑化及び意思決定の迅速化

(3) 災害対策・環境対応・情報セキュリティ等向上

- クラウドやテレワーク活用による災害時の業務継続体制（BCP）の確保、環境負荷の軽減
- 各種セキュリティ対応の充実による安全・安心な職場環境と県民サービス提供の確保

整備・運用スケジュール

 は受託事業者の業務

NO	項目	令和4年度				令和5年度				令和6～9年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	R6	R7	R8	R9
1	調達・契約・運用（全体）	調達（4-8）		設計・構築（9-3）		運用（R5-R9）							
1-1	取組1（クラウドシフト）				研修（12-3）	移行（R5.4）・運用（R5.5-R9）							
1-2	取組2（テレワーク環境）				調整	端末設定	設定完了後に運用						
1-3	取組3（データ活用基盤）			調査・計画策定（9-3）		実証実験（R5-R7）				運用			
					オープンデータ整備								
↓↓ 以下、整備に向けて全庁で取り組む事項 ↓↓													
2	庁内説明会・研修会等	庁内説明会（随時）		研修（12-3）									
		各システム担当者、スペシャリスト、デジタル活用推進員等											
3	運用ルール・制度面の検討	関係所属との検討 （公文書・個人情報等）											
4	庁内データ調査・ 課題テーマの設定	調査		関係所属との検討 （調査・課題テーマ設定等）									

基盤整備に向けて全庁で取り組む事項（ご協力いただきたい事項）

(1) 庁内説明会・研修会等の実施

- 各システム担当者、DX推進スペシャリスト、デジタル活用推進員等への説明会の実施
- 全職員向けの操作研修会の実施

(2) 各種制度・運用ルールの検討

- 情報セキュリティポリシー等の見直しにかかる検討
- クラウドツールの利用にかかる業務運用ルール等の検討
- データ活用における個人情報等の取り扱いに関する検討（ほか）

(3) 庁内データ調査・課題テーマ設定

- データ活用を推進するための庁内データの悉皆調査の実施
- 課題テーマ設定に向けたヒアリング等調査の実施

三重県DX推進基盤の整備・運用にご協力をお願いします



三 重 県

